福祉だいご

No.73
令和３年10月５日発行

社会福祉法人
大子町社会福祉協議会
会長 高梨哲彦
住所：大子町大子722－1
電話：0295-72-2005
FAX：0295-72-1121

本号の内容

●令和２年度事業報告・決算……Ｐ２―３
●令和３年度事業計画・予算……Ｐ４
●役員紹介・ねんりんスポーツ大会予選会…Ｐ５
●各事業紹介……Ｐ６
●知りたい福祉教育・賛助会費報告……Ｐ７
●善意銀行・預託金報告……Ｐ８

10月１日から
赤い羽根共同募金運動がスタート

本年度も共同募金運動が全国一斉に実施される時期となりました。共同募金は、地域福祉の推進を目的に様々な福祉事業に活用されてきました。今般は、大雨等による災害で被災された方々への支援活動や新型コロナウイルスの影響下で生活困窮した世帯を支援する活動にも活用されています。新型コロナウイルス状況下、大変恐縮ですがご協力よろしくお願いいたします。

ご協力頂いた募金の一部は次世代を担う子供たちの豊かな心を育むための活動に活用しています。
【大子西中学校】児童自ら育てたサツマイモを通した幼児との交流学習
【さはら小学校】地域ボランティア活動としてごみ拾いと分別作業

令和２年度大子町社会福祉協議会　事業報告

長寿化・少子化による高齢社会の中で多様化するニーズに対し、町民の理解と協力を得ながら、福祉・保健・医療関係者、各種団体・施設・ボランティアとの連携を図り、子どもから高齢者、障がい者“だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり”を目指し、各事業を実施しました。主な事業を下記のとおり報告いたします。

■地域福祉事業

ボランティア活動の推進

ボランティア活動に関する相談や情報提供等を行いながら、必要に応じてボランティア活動を希望する人と必要としている人の橋渡しを行った。

地域福祉活動推進事業

全地区で区長、民生委員児童委員が中心となり、地域における特性を生かして実施されているひとり暮らし高齢者等の配食サービスや会食会、訪問活動に補助金を交付し、地域住民の交流の機会の確保や地域福祉の充実に努めた。

在宅介護用品等貸出事業

車いす対応福祉車輌、介護用ベッドなどの無料貸出を行い、在宅介護者の負担軽減に努めるとともに要介護者が自宅で安心して生活し続けられるよう支援を行った。
（延件数：福祉車輌 24 件・車いす 36 件）

友愛訪問活動事業

各地域の単位老人クラブと連携し、ひとり暮らしや寝たきり高齢者となっても住み慣れた地域で、同世代の仲間同士と励まし支えあいながら住み続けられるよう地域づくりの推進に努めた。（訪問実人数：237 名）

あんしんコール事業

ボランティアの協力を得て、プライバシーを守りながら、ひとり暮らし高齢者等と定期的に会話をすることにより、在宅生活の不安解消に努めた。
（開設日数 146 日　利用者数 41 名　延件数 1,287 件）

介護用品事業

○介護用品宅配事業　　高齢者等に対して宅配により、毎月の上限額の範囲内で介護用品を支給した。
○介護用品購入費助成事業　　高齢者等を介護している方に対し、上限額を範囲内で介護用品の購入費用の全部若しくは一部の助成を行った。
（内訳）

事業名	申請件数	助成額
介護用品宅配事業	662 件	12,836,219 円
介護用品購入費助成事業	320 件	10,513,683 円

訪問介護等事業所開設準備事業

令和３年度より旧浅川小学校に訪問介護事業所を開設するための業務を行った。

地域支え合いサービスセンター「さとも」事業

非営利的な有償による訪問サービスを行う住民参加型福祉供給組織「地域支え合いサービスセンターさとも」を設置し、高齢者や障がい者等の家事援助・話し相手等の様々な支援を行い、在宅での日常生活の充実を図るとともに、本人・家族の身体的・精神的負担の軽減を図る在宅福祉サービスの推進を行った。

利用会員数	協力会員数	活動延回数
49 名	30 名	364 回
活動延時間数		942.0 時間
（内訳）		
・食事の準備・片付け		50.4 時間
・住居内の掃除、整理整頓		525.2 時間
・生活必需品等の買い物代行		184.5 時間
・外出時の付添い		30.9 時間
・衣類の洗濯・補修		27.3 時間
・その他会員間で行うことがふさわしい支援		123.7 時間

日常生活自立支援事業

認知症の高齢者や知的または精神的に障がいのある方など判断能力が不十分で、かつ親族などの援助が得られない方に対して生活支援員が福祉サービスの利用手続きの援助や、日常生活の金銭管理援助及び書類等の預かりサービスを行い、地域で自立した生活が送れるよう支援しました。（利用者数 19 名　訪問回数 584 回）

生活福祉資金貸付事業

新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮する世帯や低所得者世帯等で貸付を希望する方に対し申請に関する相談支援等を行った。
○特例緊急小口資金　貸付件数 59 件
○特例総合支援資金　※延長貸付含む　46 件
○再貸付　貸付件数 7 件
※貸付金の財源は全額公費

■障がい福祉サービス事業

就労継続支援事業所「大子福祉作業所」「若草共同作業所」の運営

障害者総合支援法に基づき、在宅の障がい者のために日常生活に必要な社会性の訓練・軽作業を提供し、自立

と社会生活への適応力が養えるよう就労支援事業所の運営に努めた。

	大子福祉作業所（定員 20 名）	若草共同作業所（定員 20 名）
利用申込者数	16 名	21 名
開所日数	198 日	243 日
延利用者数	2,382 名	3,176 名
1 日平均	12.0 名	13.1 名

指定特定相談支援事業所の運営

障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活・社会生活が送れるよう相談に応じた。（契約件数 43 件）

■受託事業

高齢者大学事業

高齢者の生涯学習・生きがい・健康づくりの推進のため、8 回の学習会を開催した。
（参加延人数 277 名）

ふれあい・いきいきサロン事業

高齢者等が身近な地域でボランティアと一緒に生きがいと健康づくりの企画運営を行う仲間づくり活動を通じて、高齢者の閉じこもり防止や孤独感の解消等が図れるよう活動支援を行った。（中央型 9 ヵ所・小地域型 10 箇所　参加延人数 3,784 名）

子育て支援センター事業

未就学児とその家族や妊婦を対象に親子で自由に遊べる場、交流の場を提供し、育児に関する情報交換、相談の場として活用できるよう努めた。

- たんぽぽ広場の開設（登録人数　親 40 名　子 47 名　参加延人数 1,181 名）
- 子育て支援室の一般開放（利用延人数 849 名）
- 相談支援活動（相談人数 15 名　相談延件数 28 件）
- 親子ふれあいコンサートの開催コロナウイルス感染症拡大のため未実施

放課後児童クラブ事業

保護者が労働等により、昼間家庭にいない児童を対象に放課後や長期休業中の生活の場を確保し、児童の健全育成を図ることに努めた。（登録人数 61 名内長期のみ 18 名　　開設日数　253 日　延利用者数 7,899 名）

ファミリー・サポート・センター事業

非営利的な有償による育児支援を行う「ファミリー・サポート・センター」を設置し、子育ての手助けをして欲しい方（利用会員）と手助けができる方（協力会員）の橋渡しを行い、子育ての精神的・身体的負担の軽減を図れるよう努めた。

心配ごと相談支援事業

生活上の悩みごとや心配ごとの相談の場として月 2 回相談所を開設し、問題解決への方向性を助言した。（相談延件数　5 件）

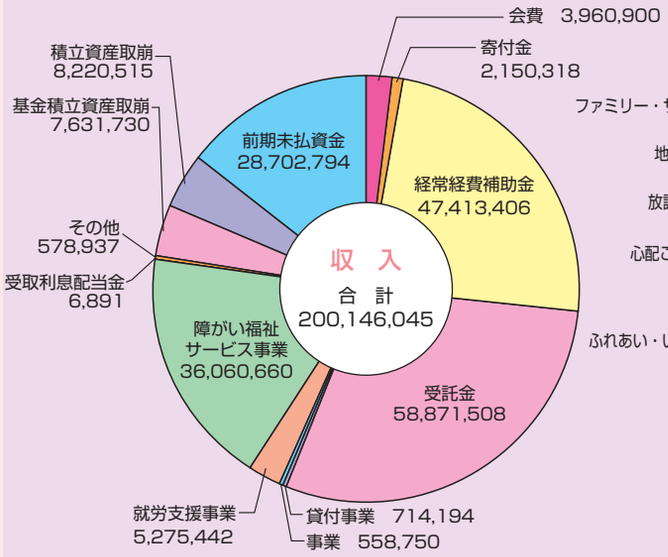
大子町文化福祉会館「まいん」指定管理事業

町民が安全に気持ちよく利用できるよう施設の適正な運営に努めた。（貸出件数 1,357 件）

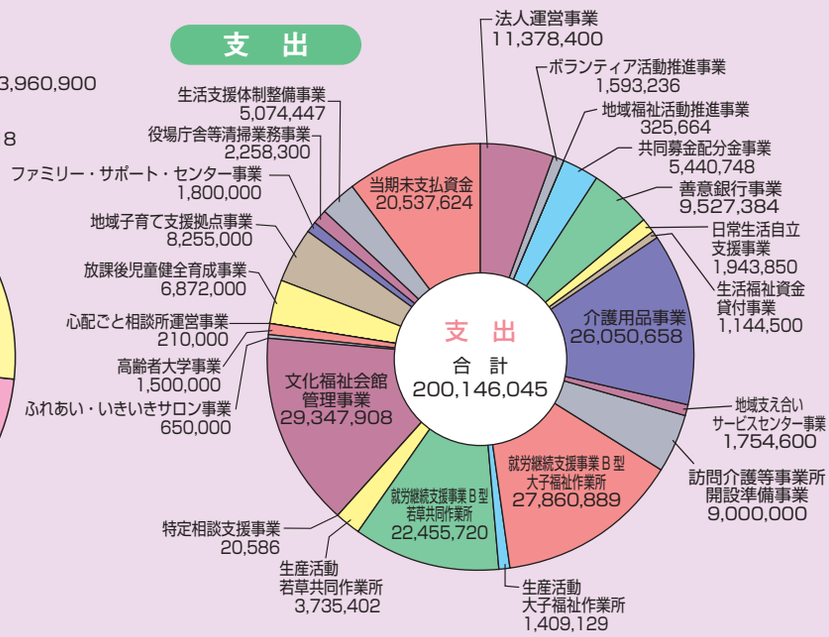
令和２年度決算報告

（単位：円）

収　入



支　出



令和３年度　大子町社会福祉協議会　事業計画

今日、少子高齢化・人口減少社会の到来やライフスタイルの多様化、核家族化・ひとり暮らしや高齢者のみの世帯の増加等が進行する社会情勢を背景に、官民を問わず様々な改革が進められております。

国においても、新たな法律の施行や福祉の提供ビジョンが示される等、地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会に向けた「我が事・丸ごと」の地域づくりが推進されております。

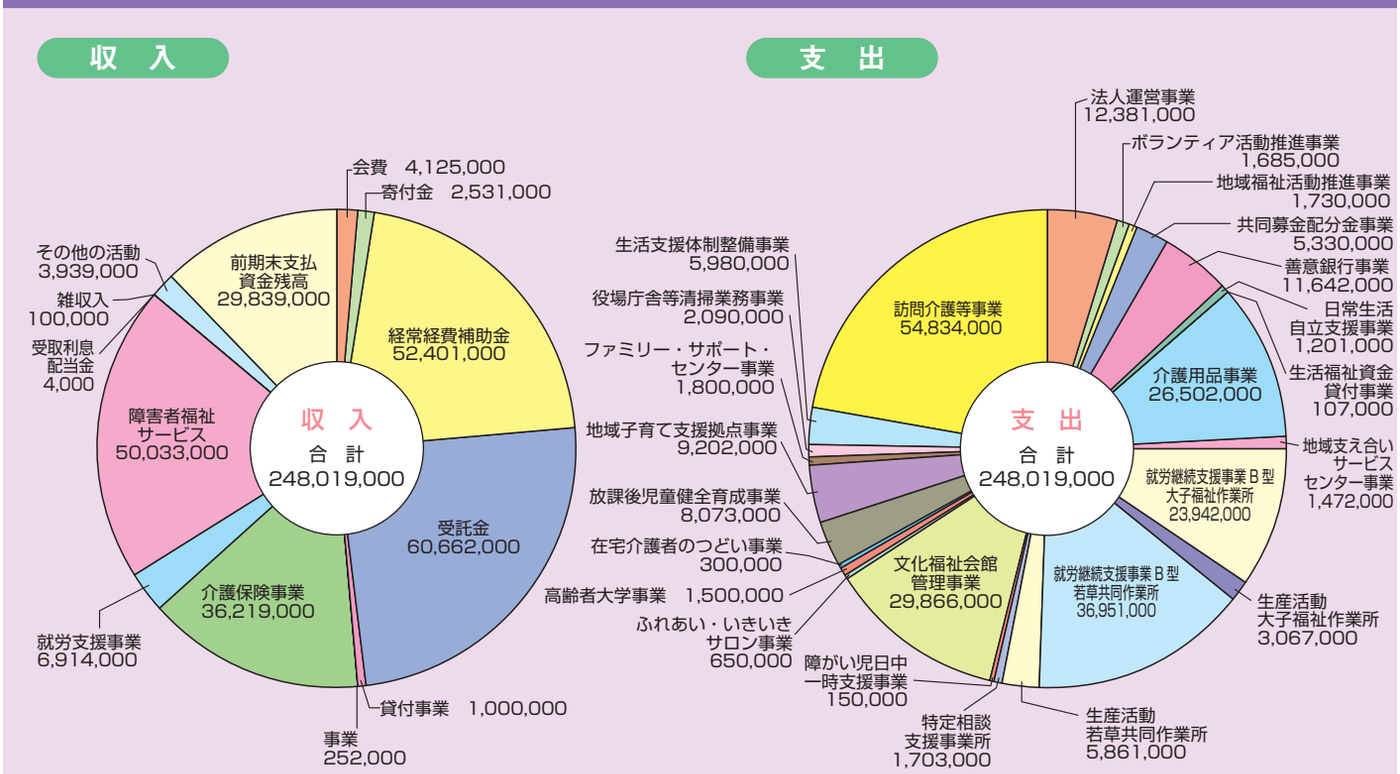
また、地域社会や家庭の有り様が大きく変化する中で、子育てや介護をめぐる諸問題への対応、生活支援を必要とする高齢者への支援など、従来の社会福祉制度の枠組みでは対応することが難しい課題が、顕在化してきている状況にあります。

本町においても、社会福祉に対する住民の意識は複雑多様化、増大し、「地域福祉の推進」を目的とする当社会福祉協議会に寄せる期待は、益々大きなものとなっております。

こうした現状をふまえ、当社会福祉協議会としては、「だれもが安心してくらせる地域づくり」を実現するため、地域福祉事業や、障害者総合支援法に基づく事業、行政より受託している子育て支援事業、指定管理事業等を継続して運営してまいります。さらに地域が抱える様々な生活課題を的確に捉え、地域の方々やボランティア・行政・医療機関・関係団体との一層の連携を図りながら、必要な支援につなげつつ、不足する社会資源の開発や担い手の発掘を行い、住民同士で支えあえる地域づくりを進めてまいります。

令和３年度　大子町社会福祉協議会　予算

（単位：円）



地域福祉事業	受託事業
法人運営事業（理事会、評議員会の開催等）	文化福祉会館指定管理事業
ボランティア活動の推進（ボランティア保険、連絡会の運営等）	ふれあいいきいきサロン事業（中央型サロン、地域型サロン）
地域福祉活動推進事業（地域づくり講演会等）	高齢者大学運営事業
共同募金配分金事業（福祉活動への助成、おせち品宅配事業等）	家族介護者交流事業（介護者のつどい、介護に関する講習会等）
善意銀行事業（預託金品の受付配分、生活つなぎ資金貸付等）	放課後児童健全育成事業
日常生活自立支援事業（日常的金銭管理等）	地域子育て支援拠点事業
権利擁護推進事業（短期預かりサービス等）	ファミリー・サポート・センター事業
介護用品事業（宅配事業、購入費助成事業）	役場庁舎等清掃業務事業（大子町役場、大子町保健センター）
在宅介護用品等の貸出	生活支援体制整備事業
地域支え合いサービスセンター事業	**介護保険事業**
生活福祉資金貸付事業	訪問介護事業
地域福祉活動計画の策定準備	**その他**
障がい福祉サービス事業	行政機関、福祉団体等との連携、協力
就労継続支援事業所の運営（大子福祉作業所、若草共同作業所）	啓発活動（福祉だいご発行等）
特定相談支援事業所の運営	総合相談支援
障がい児日中一時支援事業	共同募金運動の推進

社会福祉協議会　理事・評議員紹介

（令和３年６月 30 日　現在）

理事 15 名（定数 10 名以上 15 名以内）
任期：令和３年６月 30 日から令和４年に開催される定時評議員会の終結の日

理事		
高梨　哲彦（会長）	齋藤　博司	藤田　雅之
飯村由美子（副会長）	大藤　博文	菊池利喜夫
佐藤　光保（副会長）	菊池レイ子	笠井　敏子
齋藤　忠一	手塚　宣彦	小室　健二
大藤　　猛	大髙かほる	小室　勝正

監事２名（定数２名）
任期：令和３年６月 30 日から令和４年に開催される定時評議員会の終結の日

監事	
石井　　收	圷　　陽子

評議員 32 名（定数 16 名以上 40 名以内）
任期：令和３年６月 30 日から令和６年度に開催される定時評議員会の終結の日

評議員		
柳岡　孝三	鈴木　俊嗣	石井　典憲
吉成丑治郎	吉成　正雄	髙林　裕幸
青木　眞三	益子　珠子	小室　　薫
瀬尾　　浩	椎名　　久	鈴木　辰栄
牧島　良子	益子　孝幸	鈴木　大介
大森　政男	齋藤　勝代	仁平由利子
塚田　洋一	齋藤　弘美	片岡　久子
綿引　秀孝	根本　　学	大森　絹子
佐藤健一郎	蓮見　信之	永瀬　道子
藤田　則子	今松美喜子	藤田　賢司
佐々木孝雄	小野瀬昭一	

ねんりんスポーツ大会 予選会

いばらきねんりんスポーツ大会に出場するチーム等を決定するため、各種目で白熱した試合が繰り広げられました。各種目の上位チーム等は下記のとおりです。

残念ながら、緊急事態宣言の発令により、８月に予定していたグラウンドゴルフ大会および 10 月に予定されていたいばらきねんりんスポーツ大会は中止となりました。

ゲートボール　　北田気千歳会

輪投げ　団体　上岡住吉会Ｂ
個人１位　上小川シニアクラブ長寿会
大森絹子（第１部 １位）
２位　上岡住吉会Ｂ
栗田泰子（第２部 １位）

ペタンク　　芦野倉長寿会Ａ

～社協の事業を紹介します～

だいご放課後児童クラブ

今年度より、小学校の長期休業期間のみ「旧浅川小学校」で放課後児童クラブを開設しています。

木造の懐かしい教室には子どもたちの笑い声が響き、広々とした校庭では元気いっぱい遊ぶ子どもたちの姿が見られました。

オリンピック観戦

草野球

ヨーヨー釣り大会

子育て支援センター

新型コロナウイルス感染拡大予防対策を十分に行いながら、小さなお子さんとその保護者で制作や集団遊びを楽しみ、子育て世代の交流の場として活動しています。

ママヨガ

水あそび

まちのこ団プレイバス

若草共同作業所（通称：工房わかくさ）

障害者総合支援法に基づく『指定就労継続支援事業所（B 型）』において、就労の機会を提供するとともに生産活動や日常生活に必要な訓練を行っています。

利用者の皆さんは、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いながら、毎日お仕事を頑張っています！！

ご興味のある方は、お気軽に見学に来てください♪

＜若草共同作業所＞
大子町保健センター横の建物

＜所内作業＞
町内企業からの請負作業

＜所外作業＞
公共施設等の清掃作業

「知りたい福祉!!」教室 ～知ることから始めよう！物忘れと認知症の違いって？～

7月26日（月）に町内在住の方を対象とした「知りたい福祉！！」教室～知ることから始めよう！物忘れと認知症の違いって？～を開催いたしました。

講師として、大子町地域包括支援センター保健師の佐藤あゆみ氏と、社会福祉士の安嶋智子氏をお呼びし、認知症サポーター養成講座の内容である認知症を理解することから学び個別ワークをとおして、認知症の方への接し方について考えました。

参加者からは「他人事と思っていたが、今は自分の事である。もっと若い時からもっと意識する事であり、若い人にもっと関心をもってもらいたい。」「他での認知症セミナーは３度受けたが、受講のたび新しい知識を得られて有意義に感じた。」との声がありました。

終了時には認知症サポーターの証しとしてオレンジリングとカードが配付されました。

令和３年度社協賛助会費

ご協力ありがとうございます。

今年度も皆さんのご協力、ご支援のおかげで 3,846,700円の会費が集まりました。

大子町社会福祉協議会賛助会費につきましては、毎年、区長、行政連絡班長をはじめ、町民の皆さんにご協力をいただき感謝申し上げます。ご協力いただきました賛助会費は、地域福祉活動、在宅福祉サービスの一層の充実、児童や障がい者（児）・高齢者福祉など、子どもから高齢者、障がい者まで「だれもが安心して暮らせる地域づくり」のため、有効に活用させていただきます。

令和３年９月16日現在（単位：円）

地区名	世帯数等	金　額
大子地区（池田を含む）	1,335	990,500
依上地区	496	354,400
佐原地区	382	275,400
黒沢地区	483	358,100
宮川地区	593	427,100
生瀬地区	562	399,800
袋田地区	595	430,100
上小川地区	580	410,800
下小川地区	167	120,100
その他	55	80,400
合　計	5,248	3,846,700

あなたの善意で福祉のまちづくり

善意銀行

社会福祉協議会には、町民のみなさんの温かい善意がたくさん寄せられます。その温かいお気持ちを大切にして、町民の福祉のため有効に活用させていただいているのが《善意銀行》です。

善意銀行に金品を預託された方々をご紹介いたします。

令和３年３月 31 日～令和３年９月 15 日（敬称略　単位：円）

芳　名・住　所	預託金品	芳　名・住　所	預託金品
菊池寿彦　下野宮	100,000	匿名	100,000
大子幼稚園	6,416	匿名	7,030
ボランティアグループなかよし会	30,000	匿名	10,000
匿名	100,000	大高芳明　池田	100,000
匿名	8,196	匿名	30,000
匿名	2,632	匿名	10,000
中井弘道　池田	200,000	匿名	10,000
匿名	3,242	中島真一郎　大子	100,000
匿名	100,000	21 期ゴルフ会	5,911
斉藤正　浅川	100,000	匿名	手芸品
小松和人　左貫	100,000	匿名	未使用衣類
匿名	30,100	（株）セブン－イレブン・ジャパン	日用品等 40 箱
匿名	50,000		

上記の他に洗濯用洗剤・毛糸・布等をいただきました。

令和２年度　善意銀行　預託・払出報告

＜預託状況＞

物品件数	金銭件数	金　額	備　考
12 件	29 件	2,050,318 円	一般預託金（29 件）　2,040,318 円 指定寄付（１件）　10,000 円

＜払出状況＞（金銭預託は令和１年度預託金分を令和２年度で払出）

物品件数	金　額	備　考	
11 件	10,792,650 円	安心箱配付事業（バスタオル・衣装ケースを配分）	44,495 円
		子育て支援（幼稚園・保育所（園）・子育て支援センターへ遊具・玩具を配分）	346,920 円
		手作りマスク作成材料費	214,165 円
		車いす対応福祉車輌経費	143,843 円
		フードバンク送料（５件）	7,050 円
		火災見舞金　（５件）	130,000 円
		水害見舞金（343 件）	7,550,000 円
		まいんボランティアセンター運営費	1,286,509 円
		生活つなぎ資金貸付金	931,000 円
		その他（事務消耗品代等）	128,668 円
		（指定寄付）大子福祉作業所	10,000 円

社会福祉法人　大子町社会福祉協議会
〒 319-3526　茨城県久慈郡大子町大子 722-1
大子町文化福祉会館「まいん」内
電　話：0295-72-2005　FAX：0295-72-1121
E-mail：daigo-syakyo@ia8.itkeeper.ne.jp　ＵＲＬ：http://daigo-syakyo.jp/

ホームページ　Facebook

□大子町子育て支援センター　電話　0295-72-1120
□若草共同作業所　大子町大子 1846　電話　0295-72-1923
□大子福祉作業所　大子町池田 1513　電話　0295-72-2126
□指定訪問介護事業所リケア　大子町浅川 1253　電話　0295-76-8820